

モンゴル高専生の日本におけるインターンシップを実施しました

国立高専機構は、中学卒業後から5年一貫で実践力を鍛える独自の教育システムをアジアの国々に展開し、現地で優秀な若者を育成することで、その国のものづくりを支援するとともに、人材獲得につなげるための新たな取り組みに乗り出していますが、昨年度から都城高専が幹事校となり、モンゴルの3つの高専に対して、教員の研修、実験・実習用機材の整備、インターンシップ等の教育支援を実施しています。

4年前、首都ウランバートルには、3つの高専が開校され、現在、およそ700人が学んでいます。

今回、モンゴルへの教育支援の一環として、宮崎県内の企業5社において、以下のとおり、モンゴル高専生のインターンシップを実施しました。

【受入れ企業とインターンシップの様子】



-宮崎空港到着-

受入期間：8月6日（月）～8月10日（金）



-マトヤ技研工業株式会社-

受入期間：8月6日（月）～8月10日（金）



-株式会社サニー・シーリング-

受入期間：8月6日（月）～8月10日（金）



-えびの電子工業株式会社-

受入期間：8月6日（月）～8月10日（金）



-株式会社教育情報サービス-

受入期間：8月6日（月）～8月10日（金）



-株式会社下森建装-

受入期間：8月21日（火）～8月25日（土）

インターンシップ期間中、モンゴル高専生は、それぞれの受入企業において、電子回路の組み立てや建築模型作成、現場見学、IT エンジニアのプレゼンの聴講など、さまざまな経験をすることができました。

参加した高専生からは、「日本における企業のインターンシップで学んだ先進的な技術や体験を活かして目標としている専門家になり、将来の自分の夢を実現したい」などの感想がありました。

モンゴルでのものづくりを支援するのが目的ですが、将来、日本企業の人手不足の解消にもつながることが期待されます。